

【GIGA×小・国語】 eポートフォリオ（スプレッドシート）を用いた、児童の見取りと評価①

単元名	発表会を開こう 「海の命（光村図書）」
重点指導事項	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。【思・判・表（1）C力】

以下のようなスプレッドシートを作成した。これは、一つのスプレッドシートに、一人ひとり別のタブで作成し、編集保護を掛け、1時間目から6時間目の学びの足跡を記録するものである。取り組み1～4の詳細は、次のページで説明を行う。

【取り組み1】 4つのSTEP	大目当て	海の命、「みんなの説」発表会を開こう	海の命、「みんなの説」発表会を開こう
	時程	3	4
	学習過程	情報の収集／整理分析	整理・分析
	育てる力	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
【取り組み2】 3つの学習目的	STEP1	自分の考えをもつ「読みの道具箱を用いて、一つ以上問いが生じる」	自分の考えをもつ「問いに対して、文章を根拠の一つ以上説を考えることができる」
	STEP2	友達との共有「みんなの問いを読んで、一つ以上共感する問いを発見する」	友達との共有「二人以上の友達と自分の説についての考えを交流する」
	STEP3	考えの違いを発見「友達の問いに対して、もう一度文章を読んで考える」	考えの違いを発見「説に対して、一つ以上自分にはない視点に気付くことができる」
	STEP4	自分の考えをもつ「問いに対して、文章を根拠の一つ以上説を考えることができる」	互いの良さを認め合う「友達の説や考えに対して、二人以上良さを伝えることができる」
【取り組み3】 先生コメント	学習目的1	疑問の中から読みの道具箱を使って考えたい問いを見つける	この前の続きで文章を根拠に問いの答えを考える
	学習目的2	問いの答えを出す	まとめて共有する
	学習目的3	みんなの問いを見ているんな考えを知る	
	どう学ぶか	同じ考えの友達と	同じ考えの友達と
【取り組み4】 自己評価	自分の考え	問い1 父が死んだ海になんで怖がらずに行けたのか 問い2 なんて無理やり与吉じいさの弟子になろうとしたのか	問い1 子供の頃から父と一緒に漁師として海に行きたかったけど死んで、だ 父のように同じ海に行ってもぐりたかったから 問い2 父が死んだ海に毎日一本釣りに行ってたから
	達成度（S,A,B,C）	S	A
	振り返り ①50字以上で ②自分の考えが変化し きつかけを書く ③次への見通しを書く	問い2は本当は父の弟子になりたかったけど、死んじゃって、でも海に行きたいから与吉じいさの弟子になったと思った。けど文章をこんきょにできなかったから、次もう一回考えたい。	問い2は文章を根拠にできたけど、問い1は難しかった。最後に先生にヒントをもらったらわからなくなったけど、なんとなく分かってよかった。
	先生コメント	そうですね。どの言葉から太一が弟子になりたかったと思うのかという点。そして、どの言葉から、弟子になることを決意したのかなど、そう思うだけではなく、根拠の言葉を探していきましょう。	ヒントをもらったらわからなくなったというのは、またうれしいですね。父が死んだ海に行く理由は、怖さを超える何かがあったからいけるのではないのでしょうか。何か使命のような、夢のような・・・。
【取り組み5】 先生コメント	全文シート		
	疑問BOX	疑問BOX	疑問BOX
	みんなの疑問	みんなの疑問	みんなの疑問

【考察】

可視化した情報であるeポートフォリオ（スプレッドシート）を用いることで、児童が過去の自分と比較し、考えが広がっているという指導事項を達成していることを自覚しやすくなった。次に、他の児童の学習目的を確認することができる環境にしたことで、意図的に話を聞きにくい児童の姿が見られた。教師コメントにより学びが方向づけられ、個別の支援をすることができた。（一方で、教師が授業中にSTEPの達成個数で評価というのは、時間的に厳しく全員見取り、評価をすることはできなかった。）

【GIGA×小・国語】 eポートフォリオ（スプレッドシート）を用いた、児童の見取りと評価②

eポートフォリオ 4つの取り組みの詳細について

取り組み1 4つのSTEP

4つのSTEPとは、本時の目標（指導事項）を達成するための行動を明示したルーブリックのことである。子どもたちは、明示してある4つのSTEPを参考にしながら、自分の活動の方向性を定めたり、自己調整したりしていく。STEPという言葉の通り、全て達成する必要はない。1段飛ばしをする児童もいる。

取り組み3 先生コメント

個別最適な学びにおいて、児童の学びが複線化していく。授業中だけでは、適切に関わり支援することが不可能である。そこで、毎時間コメントを書き、児童を励まし、支援することで、学びの方向付けをしたり、価値づけしたりしている。

取り組み2 3つの学習目的

学習目的とは、4つのSTEPに照らし合わせて、児童が本時に取り組むべき行動を明示しその優先順位をつけるものである。本時の目当てを全員で共有した後、個人で学習目的を立て、個別の学びに入る。その際、スプレッドシートにリンクを貼ることで、以下の写真のように、誰が何を学ぶかを児童が他者参照することができるようにしている。

取り組み4 達成度

児童は、振り返りの段階で、4つのSTEPのうち、3つ以上できていればS、2つ以上でA、1つ以上でB、一つも達成できていなければCという自己評価をつける。その際、右のように教師のみ見ることができるスプレッドシートにリンクを貼ることで、一人一人の学びの把握をすることができるようにしている。

また、評価の欄に1時間ごとの教師の評価を残すことができるようにしている。

時数	A児	評価
事前		A ▼
1	S	A ▼
2	A	A ▼
3	B	A ▼
4	S	A ▼
5	S	A ▼
6	A	B ▼
単元		A ▼

(リンクを貼ったスプレッドシート)

今日の目標	A児	B児	C児
1	海の命を読み、問いを考える	問についての答えを出す	もう一度『海の命』の文章を読む。
2	文章を根拠にして答えを出す	答えを説に当てはめる	問いの答えを文章の言葉をもとに考える。
3	友達と共有する	友達と問と答えを共有する	問いに対する説をまとめる。
どう学ぶか	同じ考えの友達と	同じ考えの友達と	同じ考えの友達と

(リンクを貼ったスプレッドシート)